

結び

musubi

2024 November
No.163

特集

『女子○』ツアーガやってきた!
JA青森でトマト収穫体験



『女子○』ツアーやってきた! JA青森でトマト収穫体験

『女子○(ジョシマル)』×JAグループ青森の体験ツアーは、県内の産地を巡り食育体験や農業のいまに触れられる人気企画。今回はJA青森全面協力で食と農業の魅力をPR!9月7日に開催された「トマト収穫体験ツアーin青森」の模様をお届けします。



トマトの収穫方法や見分け方をレクチャー

『女子○(ジョシマル)』は、東奥日報社が主催する「アオモリをとことん楽しむ女性のための俱乐部」です。会員は、さまざまな活動を通じて県内外の産業や文化、歴史への理解を深めながら、その土地ならではの魅力を体験しています。食農教育をテーマにJAグループ青森と行う体験ツアーは、産地見学や収穫体験など農業に親しむ機会として好評を博しています。

特産の大玉トマトを収穫

雲ひとつない青空のもと、体験ツアー参加者19名を乗せたバスが川田和也さんの園地に到着しました。6年前に祖父の修次郎さんから農地を引き継ぎ、青森市清水で大玉トマト『りんか』を栽培している川田さん。自身の農業への思いを交えながら、参加者にトマトの収穫方法をレクチャーしました。川田さんから「市場には出ないが割れが入ったトマトは甘い」などの説明を受けた参加者たちは、早速ビニールハウスへ入って食べ頃の実を選び、教わったとおりにヘタの上の節に指添えて収穫。実の詰まつた大玉トマトの重さに驚いていました。また、濃い赤色が特徴のミニトマト『千果』の試食では、「フルーツのように甘い」「おいしい」という声が聞かれました。トマト栽培のプロに直接話を聞ける機会とあって、収穫の合間にも家庭菜園での上手な育て方や長持ちする保存方法などについて次々と質問が飛び交いました。

川田さんは「初めての体験受け入れで緊張したが、気さくにお話ができるで楽しかった。自分が育てたトマトを収穫してもらえて嬉しい」と、笑顔で参加者を見送りました。



選果場へ集まる収穫されたばかりのトマト



収穫したトマトを手に笑顔の参加者



園地で収穫体験を行った川田和也さんと祖父の修次郎さん



トマトの選果から出荷までを知る

続いてツアーバスはJA青森本店へ。参加者はトマトの選果場で出荷されるまでの工程を見学してから、各レーンのスタッフに手ほどきを受けて選別と箱詰めを体験しました。見学した9月初旬は出荷の最盛期で、一日におよそ800から1000ケースを箱詰めします。機械選別でサイズごとに流れてくるトマトは、青いものから赤いものまで色づきの度合いが異なり、箱詰めではその色と形を瞬時に判断して隙間なく並べる必要がありましたが、作業を体験した参加者は、「色の違いを見極めるのが難しい」「パズルのようだ」と苦戦した様子。

選果場を案内したあすなろ営農センターの蝦名潤也係長は、選果の基準や箱詰めのコツを紹介するとともに、今年は暑さが厳しかったため出荷数が減少していることや高齢化により生産者が減っている青森の農業の現状についても伝えました。

流れてくれる
選別されたトマトが次々と



選果作業に挑戦する参加者





コツを教わりながら箱詰め作業



青森の農業について楽しく学ぶ



お土産のトマトを手渡す山本課長

「トマトが青いまま箱詰めされることにみなさん驚かれる。地元で販売されるのと東京に出荷する場合の違いを知つていただけたのではないか」と感想を述べました。

見学の最後にはお土産として、参加者に各1kgの箱詰めトマトが贈られました。

楽しみながら農業への理解を深める

ツアーパートナーへのプレゼンタイムでは、営農販売部営農課の山本義徳課長がJA青森の活動や生産実績、近年はミニトマトの売上が伸びていることや暑さに強い品種の作付けが増えている

こと、8割が東京へ出荷され高級スーパーなどに並ぶなど、管内で生産されるトマトについて解説しました。続い

て、JA青森中央会の小堀晃生さんから、青森県の農業とJAの役割、日本の食料自給率や幅広い農産品の知識がクイズ形式で紹介され、会場は大いに盛り上りました。

ツアーパートナー一行は『あすなろ直売センター』で買い物をした後、トマトを使ったランチや三内丸山遺跡でのミニ土偶作り体験を楽しみました。今回のツアーパートナーで企画を担当した東奥日報社の金野亜紀さんは、「JAさんとコラボしたツアーパートナーは、身近な農業について学ぶ良い機会。農家さんに直接質問ができるなど、予想以上に楽しんでいただけた様子」とコメント。ツアーパートナーは普段目にしてないトマトの生産と出荷過程を体験することで、農業への理解を深めたようでした。



あすなろ直売センターでショッピング

JAの窓口紹介

就農を考えている方、働き手を求めている農家さんはぜひ一度ご相談ください。

あおもり就農サポートセンター

農業移住・新規就農を希望する方や、すでに新規就農者として営農に当っている農業者の窓口となり、情報提供や巡回指導等を行います。

TEL 017-752-6445(青森市大字平新田字池上11-14)

無料職業紹介所

農業労働力の確保が必要なJA組合員と求職者(働き手)のマッチングを手助けしています。

TEL 0172-62-4111(代)(JA青森浪岡支店内)

第15回

JA秋まつり開催

●とき／2024年10月26日(土) ●場所／JA青森羽白野菜集出荷センター

さわやかな秋晴れのもと開催された「第15回 JA秋まつり」には、開場30分前から受付に長い列ができ、会場は1,000人以上の来場者で賑わいました。

今年は東青産直ネットワーク協議会の応援に加え、福祉事業者(農福連携)や新規就農者を含む合計26店舗が出店。新鮮な野菜やりんご、ぶどう、農産加工品、新米、掛け蕎麦、棒パン、焼き芋などの特産品が市価よりもお得な価格で販売され、来場者は思い思いに買い物を楽しんでいました。

今年初めて企画された「大根収穫体験」も人気を集め、開始からわずか30分で用意された大根がすべて収穫されるほどの盛況ぶりでした。また、飲食ブースでは多くの来場者が新そばを味わい、秋の味覚を堪能しました。

会場では「JA共済の地域貢献事業」を活用した特別企画として、

県産米のパックごはん(青天の霹靂、はれわたり、まっしぐら)やあおもり海道そばの新そばロールケーキが用意され、先着500名の来場者にプレゼントされました。

事業 レポート

REPORT

青森市沖館中学校 職場体験受け入れ校

- とき／2024年9月3日(火)・4日(水)・5日(木)
- 場所／JA青森羽白野菜集出荷センター



3日間お疲れさまでした!



トマトの箱詰め



段ボールに等級のシールを貼る



あすなろ農業センター 蝦名係長に質問する様子



段ボール作り

J A 青森は、沖館中学校の生徒4名を受け入れ、職場体験を実施しました。この取り組みは、沖館中学校の「生きる力を育むキャリア教育」の一環として行われております。職場体験を通じて、仕事に就くことや働くことに対する理解を深め、コミュニケーション能力や望ましい勤労観・職業観を育むことを目的としています。

JA青森は、午後は段ボール作りや予冷庫への搬入、等級ごとのシールを段ボールに貼る作業を行いました。慣れない立ち仕事に足や腰が辛いと話していましたが、日を追うごとに作業は上達し、最終日には担当職員に積極的に質問してワークシートをまとめる作業も見られました。



● ● とき／2024年10月4日(金)
● 場所／きずなの青い森 平内町山村
開発センター、平内町消防署

JA共済きずな 青い森プロジェクト

J A 青森女性部は、JA共済連青森が主催する「JA共済きずなの青い森プロジェクト」に参加しました。このプロジェクトは、JA共済の地域貢献活動の一環として、地域住民や子どもたちが「森林・教育・木工クラフト」を通じて環境保全や食農について学ぶ機会を提供しています。

平内町の海辺に位置する「JA共済きずなの青い森」では、山林の除伐作業を見学した後、3人1組で植樹体験を行いました。平内町山村開発センターでは、貯金箱を作る木工体験や青森県産食材に関するクイズを楽しんだ後、県産食材を使ったバーベキューを味わいました。平内町消防署では地震や火災体験、消火器の使い方を学び、参加者は森林や農業の重要性を実感しながら交流を深めました。



間伐作業を見守る参加者



地震体験車で兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)の揺れを体験



木工クラフトにて貯金箱を制作



青森県産食材に関わるbingoクイズ



ヒバの植樹体験



蓬田小学校児童選果場見学

●とき／2024年9月3日(火)
●場所／JA青森蓬田選果場

蓬田小学校の3年生20名が、蓬田選果場へ職場見学に訪れました。この取り組みは約20年前から行われており、今回で17回目。児童たちは説明を受けた後、トマトの選果や箱詰めの様子を見学しました。



関係者に見守られる中、初検査を進める中央営農センター
西塚係長



令和6年度産米初検査

●とき／2024年9月11日(水)
●場所／JA青森東米倉庫

J A青森の常勤役員や関係者約30人の立ち会いのもと、青森市の鹿内一郎さんが持ち込んだ玄米「青天の霹靂」計4袋（1袋1,080キロ）の品質検査が行われ、全量が一等米に格付けされました。



米の検査施設巡回

●とき／2024年9月18日(水)～
●場所／JA青森管内の米検査施設16か所

J A青森の鹿内組合長は管内の米検査施設16か所を巡回しました。担当職員とともにJA青森の常勤役員や関係者約30人の立ち会いのもと、青森市の鹿内一郎さんが持ち込んだ玄米「青天の霹靂」計4袋（1袋1,080キロ）の品質検査が行われ、全量が一等米に格付けされました。



J A青森とまと部会あすなる支部はライジメール青森FC公式戦会場にて地場産トマトの詰め放題イベントを実施しました。トマト・ミニトマトなどの野菜販売ブースを設け、地産地消の推進に貢献しました。



ラインメール青森FC公式戦トマト詰め放題

●とき／2024年9月16日(月)
●場所／カクヒログループアスレチックスタジアム

J A青森とまと部会あすなる支部はライジメール青森FC公式戦会場にて地場産トマトの詰め放題イベントを実施しました。トマト・ミニトマトなどの野菜販売ブースを設け、地産地消の推進に貢献しました。



東海コープ役職員産消提携产地訪問

●とき／2024年10月10日(木)
●場所／東部りんごセンター、青森市りんごセンター、浪岡地区園地

J A青森の鹿内組合長は管内の米検査施設16か所を巡回しました。担当職員とともにJA青森の鹿内一郎さんが持ち込んだ玄米「青天の霹靂」計4袋（1袋1,080キロ）の品質検査が行われ、全量が一等米に格付けされました。



J A青森は日本航空パイロット・客室乗務員4名による援農活動を受け入れました。慣れない作業にも笑顔を絶やすず、明るい雰囲気の中で3日間の活動に取り組みました。



日本航空（JAL）援農活動

●とき／2024年10月8日(火)～9日(水)・10日(木)
●場所／太田節夫さん園地

J A青森は日本航空パイロット・客室乗務員4名による援農活動を受け入れました。慣れない作業にも笑顔を絶やすず、明るい雰囲気の中で3日間の活動に取り組みました。



りんご盗難防止パトロール出動式

●とき／2024年10月25日(金)
●場所／青森南警察署、浪岡地区園地

JA青森の福士経済担当常務が「主力品種の収穫が最盛期に入ります。盗難を未然に防ぐためにもよろしくお願ひいたします」と挨拶しました。



いまべつ秋まつり実行委員会主催「いまべつ秋まつり」

●とき／2024年10月20日(日)
●場所／いまべつ総合体育館お祭り広場

J A青森今別管農センターは、いまべつ秋まつりにて旬の浪岡りんごを販売しました。会場ではいまべつ牛や津軽半島今別サーモンの特売が行われるなど、地域内外の特産品が集まるイベントとなりました。

東部りんごセンター内を見学する東海コープ役職員
出動式後、園地を巡回する福士常務と青森南警察署鍊田署長

リンゴ農業の肩の腱板損傷（けんばんそんじょう）への影響を弘前大が解析した。

令和5年6月にリンゴ農家が多い青森県弘前市岩木地区で開催された「岩木健康増進プロジェクト」において、40歳以上の371名を対象に利き手の肩関節のMRIを撮影し、腱板損傷の疫学調査を行つたもの。

対象者全体の傾向として、腱板損傷は加齢と共に頻度が多くなり、特に60歳以降では60歳未満の方と比べて約6・7倍頻度が高かった。

を損傷しやすい環境におけることが考えられる。（図を参照）

今回の調査は、青森県で盛んに行われているリンゴ農業従事者に腱板損傷の患者が多いのではないかという仮説が立証された結果となる。

今回の調査結果を踏まえて、特に60歳以上のリンゴ専業農家の方で肩の痛みがある場合は肩の腱板損傷を疑つて早期に病院を受診して治療を開始することや、腕を挙げる機

今回の疫学研究を支援する全農あおもりでは、研究結果を情報発信することにより、肩の腱板損傷の認知に取り組み、同疾患を抱える農業従事者の早期受診を促すことにより當農継続を健康面からサポートする。

腱板は肩関節の周囲を取り囲む内在筋（インナーマッスル）の腱で、肩関節の安定化に寄与している。加齢や上腕骨（二の腕の骨）の挙上が多いと肩関節の上にある肩甲骨との間に挟まれてストレスを受けやすい。五

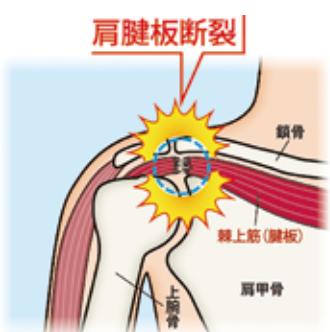
十肩と間違えられやす

いので注意が必要である。

肩痛は早めの受診を!!

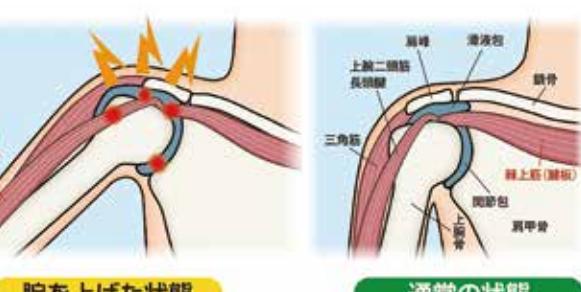
早期治療で當農継続

の発生や進行を遅らせるこ^トで、腱板損傷がで^き、肩関節の機能低下を防ぐことが期待できると石橋教授は話す。



また、対象者のリンゴ農業への参加を「全くしていない」「週5日未満従事のパートタイマー」「週5日以上従事している専業農家」に分けて分析したところ、専業農家の有病率が最も高く、専業農家は、リンゴ農業に全く従事していない対象と比べて腱板損傷が約3・8倍多いとの調査結果を、弘前大の石橋教授（整形外科講座）らのグループがまとめた。

リンゴを中心とした果樹栽培では腕を挙げて頭上で作業を行うことが多く、腕の挙上により、上腕骨と肩甲骨の間に存在する腱板



総務部からのお知らせ

令和7年度新採用職員募集について

① 応募資格

- ①高等学校卒業以上の学歴を有する方
(令和7年3月までに卒業する見込者を含む)
- ②マイカー通勤が可能な方

② 募集人数

10名

③ 勤務内容

- 職種 当JA業務全般にわたる総合職
(信用・共済・販売・購買・當農指導事業等組合の定める業務)

④ 受付期間

令和6年12月17日(火)～令和6年12月23日(月)
午後5時まで



←職員募集について、詳しくはこちら
お問い合わせは、総務人事課(TEL017-763-1035)までご連絡ください。

JA-SSの日

毎月第2金曜日はJA-SSの日!

JA-SSの日 キャンペーン 開催期間 令和7年3月まで

県内JA-SSで、ガソリンまたは軽油を2,000円以上給油で
レシートに「当たり」が出たら
その場で賞品を進呈!

毎月 第2金曜日 開催!
第2弾!! 11月~3月

LOGOS フリースブランケット
【1枚・カラーランダム】
令和6年11月8日(金)

ハピ-キッキンランダムセット
【1セット】
令和6年12月13日(金)

パールライス パックごはん
【青森の森の山川の味】
【180g×3パック】
令和7年1月10日(金)

ボリューム満点キッチンギフト
【1セット】
令和7年2月14日(金)

nepia 15ネピア プレミアムソフトラブロード
【1枚入り】
令和7年3月14日(金)

JA-SS 抽選で 合計 300名様に 当たる!

スタッドレス タイヤ キャンペーン 令和6年12月31日(火)まで

この冬はスタッドレスタイヤ4本セットで 素敵な賞品をもらっちゃおう!!

A賞 10名 挥発機 V8 origin

B賞 50名 グラフィット グリル&トースター 4枚焼

C賞 240名 高村食品 青森ねぎたラーメン(4食)

応募方法
スタッドレスタイヤ4本セット購入された方は、応募用紙に必要事項を記入の上、裏面にお買い上げいただいたレシートまたは賞品券を貼付し、35に投函されている応募箱に投函願います。

店頭抽選店
令和7年1月7日(火)まで

店頭抽選店
令和7年2月半ばまでにハガキにて当選者の連絡をいたします。

BRIDGESTONE YOKOHAMA DUNLOP

VRX3 VRX2 Ice GUARD WINTER MAXX ST WINTER MAXX SS

青森県JA-SS運営協議会 全農

購買部より

各事業所の営業状況のお知らせ

令和6年11月29日(金)は棚卸監査対応の為、一部事業所で臨時休業の対応をさせて頂きます。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解いただきますようよろしくお願ひいたします。

*商品の受け渡し等は原則行えませんが、職員はおりますのでお急ぎの場合はご相談ください。

事業所名	11/29営業状況
あすなろ営農センター	臨時休業
中央営農センター	臨時休業
平内営農センター	臨時休業
今別営農センター	臨時休業
蓬田営農センター	臨時休業
浪岡営農センター	臨時休業
東青配送センター	臨時休業

事業所名	11/29営業状況
中央給油所	通常営業
平内給油所	通常営業
蓬田給油所	通常営業
蟹田給油所	通常営業
浪岡農機整備センター	通常営業

青森県 秋田県 JA-SS

JA-SSの灯油お買い上げで
総計 900名様に当たる!

TO YOU あつたか灯油 キャンペーン

2024年 11/1(金) ~ 12/31(火)

JA-SS賞 / 20名様 (合計10万円)
のんちゃん賞 / 880名様 (合計44万円)

JCBギフトカード 2万円分

青森・秋田の名産品

応募資格 キャンペーン期間中に、下記1~3のいずれかを満たしたお客様

1. 灯油を100㍑以上ご購入された方
2. お車の灯油をJA-SSでご購入された方
3. ポールタングを購入された方

応募期間 2024年 1月10日(金)

JA-SS 青森県JA-SS運営協議会
秋田県JA-SS連絡会

K o n g e t s u n o r e s h i p i アップルジンジャージャムのフルーティー生姜焼き

2人分●エネルギー 250kcal ●塩分1.0g ●調理時間30分

調理のポイント

- ・リンゴを煮詰めるときに焦げないように注意！
- ・アップルジンジャージャムを作ると、生姜は長く加熱すると体を温める効果が増すので、焦げない程度に加熱するといいですよ！

リンゴの食感を残すことでも甘さが引き出され、子どもでも美味しく食べられます！
ジャムの活用方法では、紅茶だけではなくお湯で割っても美味しいですよ！

食物栄養学科2年
工藤 韶さん、十文字 彩葉さん

材料（2人分）※ジャムは作りやすい分量（リンゴ1個分）

リンゴ	1個 (250g)	豚ロース(スライス)	160g
おろし生姜	6g 強 (小さじ1強)	サラダ油	小さじ1
砂糖	40g	醤油	小さじ2
レモン汁	大さじ2	みりん	小さじ2
		酒	小さじ1

作り方

- ①リンゴは皮をむいて5mm角に切る。
- ②おろし生姜、砂糖、レモン汁を加えて混ぜ合わせる。
- ③鍋に②を入れて、15分煮詰めたら火からおろし、アップルジンジャージャムを作る。
- ④アップルジンジャージャム30g、醤油、みりん、料理酒を加えて混ぜ合わせる。
- ⑤フライパンに油をひいて、豚肉を焼く。
- ⑥豚肉の両面に焼き色がついたら、④を加えて焦げないように絡ませる。

※アレンジ例



アップルジンジャーティー

温かい紅茶に
アップルジンジャージャムを
溶かすだけ！

K o n g e t s u n o r e s h i p i

麻婆長芋

2人分●エネルギー 300kcal ●塩分2.2g ●調理時間30分

調理のポイント

- ・長芋を少しきめに切っています。
- ・にんにく、生姜、葱は細かくみじん切りすることで食べやすくなります。
- ・仕上げにごま油を加えることで風味がよくなり、さらに美味しい食べられます。

豆腐の代わりに長芋を使用しているのでいつもと違った麻婆が食べられます。長芋のレシピに困った時にはぴったりです！

食物栄養学科2年
石井 彩さん

材料（2人分）※辛い味が苦手な人は、豆板醤の量を加減してください。

長芋	300g (正味 250g)	胡椒	少々
豚挽き肉	100g	水	200ml
にんにく	1/2かけ	鶏がらスープの素	小さじ1
生姜	1/2かけ	オイスターソース	大さじ1/2
長葱	1/2本	醤油	大さじ1/2
ごま油 (炒め用)	小さじ1	片栗粉	小さじ2
豆板醤	小さじ1/2	ごま油 (仕上げ用)	小さじ1

作り方

- ①長芋の皮を剥き、1cm幅のいちょう切りにする。
- ②にんにく、生姜、長葱はみじん切りにする。
- ③フライパンにごま油を入れて熱し、②を入れ炒める。さらに豆板醤を加え香りが出るまで炒める。
- ④豚挽き肉、胡椒を加えて炒め、肉の色が変わったら長芋を加えさらに炒める。
- ⑤水、鶏がらスープの素を加え、ひと煮立ちしたら、オイスターソースと醤油を加える。
- ⑥片栗粉を大さじ1の水（分量外）で溶き、⑤に加えてとろみをつける。
- ⑦仕上げにごま油を加えて完成。

元祖煮干したご焼きの店 たご助



ニボたごの青ネギのせ



ニボたごの玉ねぎのせ

道の駅なみおか「アップルヒル」内にある「たご助」では、煮干しをふんだんに使ったたこ焼きと季節のりんごで作るりんご飴が楽しめます。「店名は昔からの友人が考えてくれた」と店主の秋元さん。令和3年からキッチンカーでお店を始め、今年からアップルヒル内の「こみせ横丁」にも店舗を構えました。

煮干したご焼きの生地には煮干しの出汁と粉が練り込まれており、一口食べると煮干しの風味が口いっぱいに広がります。この香りを楽しんでもらいたいと、たご焼きはソースなしで提供されています。秋元さんのオススメは「玉ねぎのせ」。煮干しラーメンに玉ねぎトッピングが合うのなら、煮干したご焼きにも合うのではないかとメニューに加えたそうです。

道の駅にお立ち寄りの際やキッチンカーを見かけた際には、ぜひ「たご助」の煮干したご焼きをご賞味あれ。



注文を受けてから焼き始める



カラフルな装飾でポップな店内



イベントにはキッチンカーで出店

元祖煮干したご焼きの店 たご助

青森市浪岡女鹿沢野尻2番地3

道の駅なみおか「アップルヒル」内

TEL:080-5567-0893

営業時間:9:00-17:00

定休日:第2・第4月曜日(祝日は営業)



詳しくはInstagramで!



理事会 だより 定例理事会

日時：令和6年8月29日(木) 午後1時30分

場所：青森農業協同組合 営農経済本部2階大会議室

●提出議案

議案第1号 理事との取引について



臨時理事会

日時：令和6年9月10日(火) 午後2時30分

場所：青森農業協同組合 営農経済本部2階大会議室

●提出議案

議案第1号 令和6年産米生産者概算金単価設定について
議案第2号 野沢りんごセンター建屋内の鉄骨撤去について
議案第3号 固定資産の取得について（りんご花粉開薬庫）
議案第4号 臨時職員就業規則の一部変更について

定例理事会

日時：令和6年9月27日(金) 午後1時30分

場所：青森農業協同組合 営農経済本部2階大会議室

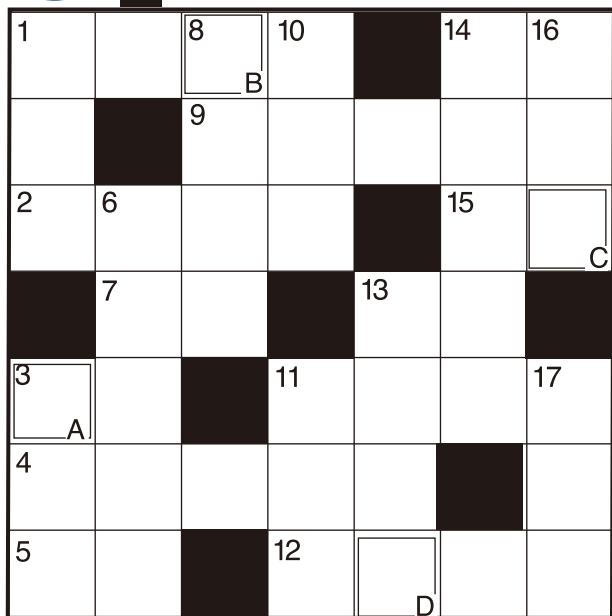
●提出議案

議案第1号 令和6年産りんご早生種仮渡金額設定について
議案第2号 当組合における取引のリスク評価書
(特定事業者作成書面等) の改正について



JA青森の概要

●正組合員数／6,704名 ●准組合員数／6,159名 ●出資金／2,081,626,000円 ●役員数／22名 ●職員数／176名



→ ヨコのカギ

- 1 11月23日は勤労——の日。国民の祝日です
- 2 灰皿にたまります
- 3 「——の精神」はモンテスキューの著書です
- 4 広島県の紅葉の名所のひとつ。世界遺産の神社があります
- 5 焼き鳥を食べると残るもの
- 6 金融——、——髪
- 9 そば屋や居酒屋の入口にかけられることも
- 11 ギンナンがなる木
- 12 「九里よりうまい十三里」と売りに来るもの
- 13 茶わんと反対の手で持ちます
- 14 3の3——は9です
- 15 クリの実を守るトゲトゲ

↓ タテのカギ

- 1 「鳥」より一画少ない鳥
- 3 —園に子どもを迎へに行った
- 6 お父さんそっくり!まるで——ね
- 8 料理店のメニュー表をこう呼ぶことも
- 10 美空ひばりのヒット曲。「柔」と書きます
- 11 患者を診ます
- 13 頭にキュッと締めるもの
- 14 ジャガイモのことです
- 16 —応報、身から出たさびだね
- 17 漢字で書くと雲母。きららともいう鉱物です

クロスワードパズルの応募方法

11月号のプレゼント

「令和6年産新米 はれわたり
2kg」

4名様



※当選発表は1月号

頂いた個人情報は「読者の声」「当選者の商品発送」のみ使用させていただきます。
ハガキ又はFAX.017-788-0281でご応募ください。

※応募者名と
世帯主名が
違う場合に
お書きください。

応募締切

12/11

9月号の景品
「青森さんのやさしいスープ2個・
のつけ丼茶漬けセット」(はとや製菓)

9月号の答え

A ツ B キ C ア D カ E リ

9月号当選者

工藤美智子さん、鈴木 勝子さん
久保田 友治さん、木村 政美さん
諏訪 結美さん、鎌田 良子さん

JA青森読者のひろば 読者の声

たくさんの投稿ありがとうございます!皆様の声、どんどんお聞かせください!



パート勤務のかたわら畠で野菜を作っています。
毎年出来が違う難しさがまた楽しいです。農協には
お世話になっております。(平内町 尾内 伸三さん)



9月号のミニトマトの写真は実がたくさんでみごとでした。今年初めて
自分で植えてみましたが、少ししか実らなかったので、来年は工夫し
てみようと思いました。季節の変わり目です。夜明けが遅くなり日暮れ
が早いですね。皆様どうぞご自愛下さいませ。
(青森市 中川 聖子さん)

兼業農家ですがいろんな農家人達の形があるんだなあ~と
感心しています。いろんな料理(レシピ)の種類などあり、
楽しいと思います。
(青森市 山内 めぐみさん)



小学生もたのしく拝見しています!
(青森市 山内 明男さん)



「読者の声」大募集!

広報誌JA青森を読んでの感想、日頃感じていること、農業への熱い思いなどを、
右記「広報誌JA青森」編集部宛てまでお送りください。

※皆様からいただいた「読者の声」は、広報誌に掲載させていただく可能性があります。お送りいた
だく方は、応募者氏名のほか、ペンネームやイニシャル希望であればそちらもご記入ください。

「読者の声」あて先

〒038-0058 青森市大字羽白字富田190番地4
JA青森 総務人事課 行 FAXの場合 017-788-0281

Facebookやホームページでは、JA青森の最新情報が入手可能です。
右のQRコードを読み込むだけですので、是非お試しください!
Facebookのフォローや「いいね!」もお待ちしています♪



JA
青森
ホームページ

